

ミクロのテクノロジーで  
世界に羽ばたく。

アサヒテックは、グローバル化を実践する  
プロセス技術集団です。



～ 環境経営レポート ～

ENVIRONMENTAL REPORT  
2023 年度

2023年1月1日～2023年12月31日

発行日：2024 年 1 月 30 日

改定日：2024 年 4 月 17 日



アサヒテック株式会社



®環境省  
エコアクション21  
認証番号0003546



## 目 次

■ごあいさつ	3
■会社概要	4
■会社沿革	6
■環境への取組み	7
<環境経営方針>	
<環境取組み体制>	
<各人の役割・責任及び権限>	
■環境経営目標	9
<中期環境経営目標と本年度環境経営目標> (第四期 2020年度～2024年度)	
■環境経営計画	10
<本年度 取組内容とその評価と次年度の取組内容>	
<本年度 取組結果と評価>	
■環境法規等要求事項と順守状況	18
<環境法規の違反、訴訟等の有無>	
■全体の評価と見直し	19
<代表者による全体評価と見直し・指示>	
■次年度の環境経営目標	20
<次年度 環境経営目標>	
■本社アクセス (お問い合わせ・地図)	21



メタルマスク・スクリーンマスクの  
アサヒテック株式会社

## ごあいさつ

たゆまぬミクロン技術への挑戦と国際的な視野・事業展開力で  
広く世界へ羽ばたくアサヒテック。

1974年創業以来、アサヒテックは写真製版技術、画像形成技術をベースとして幾度の技術革新を重ねながら高精度、高品質な各種マスクの製造を手がけ、その技術と品質は半導体、電子業界をはじめ、自動車業界、電気業界、陶磁器業界などの様々なお客様から高い評価をいただいております。さらに海外進出されたお客様への対応と自社技術の海外展開として、1992年にはアメリカ・インディアナ州、2004年には中国・北京、2007年インドとそれぞれに生産、販売拠点を設立いたしました。

アサヒテックはユニークなプロセス技術企業として専門技術を高めながら、グローバルネットワークの構築をめざしお客様の満足度を向上させることを目的として絶え間なく進化して参ります。

取締役社長

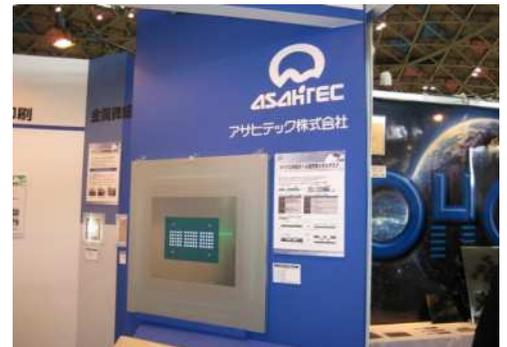
中島 純一



メタルマスク・スクリーンマスクの  
アサヒテック株式会社

## 会社概要

- (1) 事業所名           アサヒテック株式会社
- (2) 取締役社長        中島 純一
- (3) 資本金             5,500万円
- (4) 創業                昭和49年12月
- (5) 事業所所在地  
                          愛知県瀬戸市日の出町1番地  
                          TEL 0561-86-8616(代表)  
                          FAX 0561-86-9900(代表)  
                          都市計画地域 準工業地域
- (6) 環境担当  
環境管理責任者 総務部        小酒井 悌  
担当者            総務部        加藤 美奈  
                          Tel 0561-86-8616  
                          Fax 0561-86-9900  
                          e-mail : m-kato@asahitec-j.co.jp
- (7) 事業規模  
売上高            年間売上 7億8944万円 (2023年度)  
従業員数         61名  
社屋             床面積    4,420m<sup>2</sup>  
敷地面積                 8,678m<sup>2</sup>
- (8) 事業活動  
                          スクリーンマスク・メタルマスク・フォトマスクの製造
- (9) 対象事業所  
                          本社 (愛知県瀬戸市日の出町1番地)



- (10) 関連会社  
Asahitec America Corporation  
朝灯精密制版(北京)有限公司  
Asahitec Stencils Pvt., Ltd. (インド)



会社概要 製品紹介 **スクリーンマスク** メタルマスク フォトマスク



高いピッチ精度で安定した印刷を実現するスクリーンマスク。印刷用途・仕様・業種に合わせて、各種タイプをラインアップ。

～ **アサヒテック スクリーン印刷マスクの特徴** ～

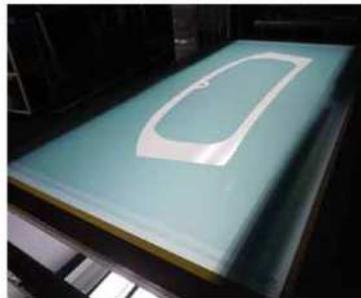
- フィルム作製、スクリーン紗張りからマスク製版まで自社内で一貫生産。
- 高精度ステンレスメッシュ、高解像度乳剤を使用した高精度印刷マスクからポリエステルメッシュを使用した、耐久性に優れた低コストの一般印刷向けマスクまで幅広い用途に対応。
- 大型スクリーン印刷版の作成も得意としており、最大1320X2050mmのポジフィルムを9000dpiの解像度で出力可能な大型イメージセッター、4mの枠の紗張りが行える大型紗張り機などを保有。

大型イメージセッター



- 最大1,320X2,050をつなぎ目無しで出力できます。
- 用途に合わせて3,000dpi, 5,000dpi, 9,000dpiの解像度から選択が可能です。

自動車硝子向け大型スクリーン版



- 3,000x1,800サイズ迄は標準品として承ります。
- 4mクラスの枠寸法にも対応致します。

印刷評価・試験用印刷設備



- 御社の印刷問題を弊社印刷版により解決できるか事前に印刷試験を行う事も可能です。



ご要望の形状に合わせてレーザー加工された高精度メタルマスク。バンブ形成用、充填用、表面実装用の高精度な印刷を実現します。



レーザーフォトリソではパターン形成用としてのガラス、フィルムマスク、また高精度スクリーンマスク用フィルムなどで使用されています。大型イメージセッターはスクリーンマスク用フィルムやエッチング用のフィルムマスクとしても使用されます。



## 会社沿革

- 1974年 12月 曙プロセス(株)として名古屋市守山区で会社設立
- 1976年 3月 スクリーン刷版(スクリーンマスク)製造開始
- 1978年 2月 サンドブラスト用保護膜の特許出願
- 1983年 1月 愛知県尾張旭市に本社移転
- 1984年 1月 感光性樹脂成形品製造開始
- 1988年 11月 アサヒテック株式会社に社名変更
- 1992年 5月 アメリカ工場: Asahitec America Corporation 設立 (インディアナ州)
- 1996年 12月 メタルマスク事業に参入
- 1999年 11月 瀬戸市日の出町に瀬戸工場開設
- 2000年 1月 エマルジョンガラスマスク事業に参入
- 2000年 5月 スクリーンマスク事業を瀬戸工場に増設
- 2004年 3月 瀬戸市日の出町に本社移転
- 2004年 12月 中国工場: 朝灯精密制版(北京)有限公司 設立
- 2007年 5月 インド工場: Asahitec Stencils Pvt., Ltd. 設立 (Chennai)
- 2009年 4月 エコアクション21認証取得
- 2012年 4月 大型イメージセッター導入
- 2016年 8月 新社屋に事務部門移転、製造部門増設
- 2022年 1月 ISO9001 認証登録

### 対象期間

～ 2023年1月1日～2023年12月31日 ～



## 環境への取組み

### 環境経営方針

#### 環境経営方針

1974年創業以来、アサヒテックは写真製版技術、画像形成技術をベースとして幾度の技術革新を重ねながら高精度、高品質なマスクの製造を手がけ、その技術と品質は半導体、電子業界をはじめ、自動車業界、電気業界、陶磁器業界など様々なお客様から高い評価を頂いております。

たゆまぬミクロン技術への挑戦と、国際的な視野・事業展開力で広く世界へ羽ばたき、社会に貢献することを念頭に、環境経営方針を制定します。

1. 環境経営を推進するため、エコアクション21のガイドラインにもとづき、これを運用・維持することを確実にします。
2. 当社の企業活動が環境に与える影響を正しく認識し、環境目標を定めて社員全員で継続的な環境改善に取り組めます。
  - ① 製品の開発・製造に使用する資源投入量の適正化を推進し、材料の歩留まりと製品品質の向上に努めます。
  - ② 事業活動に伴う省エネルギーを推進し、CO<sub>2</sub>排出の削減に努めます。
  - ③ 事業活動に伴う水資源(上水)の使用量の節水に努めます。
  - ④ 化学物質の取扱量の削減に努めます。
  - ⑤ 資源を有効に利用するため、再資源化の推進および廃棄物の削減に努めます。
3. 環境に関する法律、条例、規制、協定、および当社が決めた外部からの要求事項を順守します。
4. 全社員に対し、環境経営方針を周知徹底し、環境経営に対する意識向上を図ります。

制定 2008年 6月10日

改訂 2011年 4月20日

改訂 2018年 5月1日

改定 2021年 4月15日

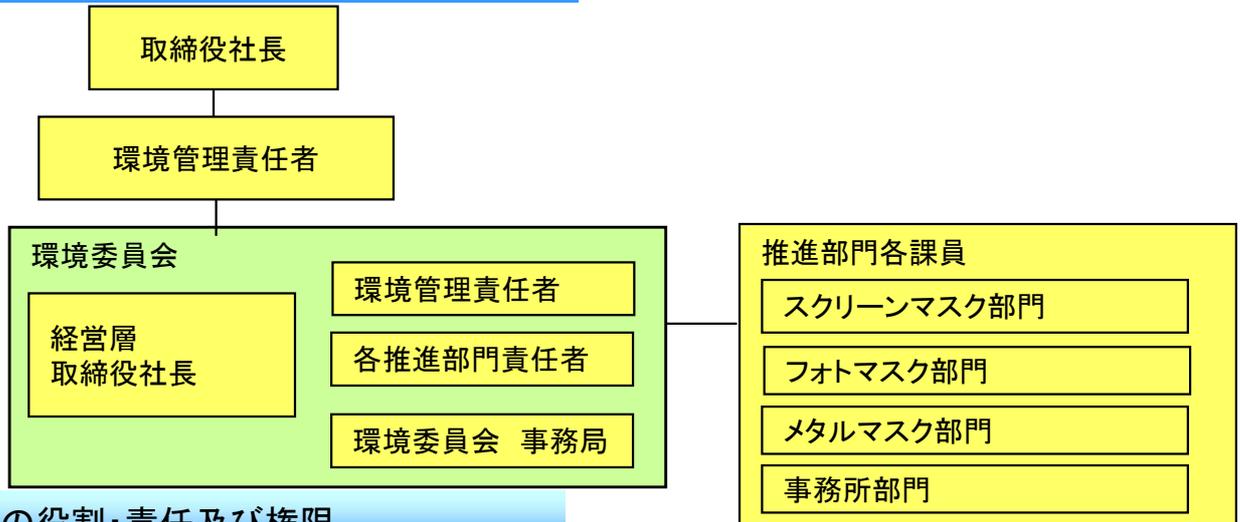
アサヒテック株式会社  
取締役社長 中島 純一





## 環境への取組み

### 環境取組み体制



### 各人の役割・責任及び権限

担当	責任及び権限
代表者 (社長)	①環境管理の最高責任者 ②環境経営方針の制定・見直し ③環境管理責任者の任命 ④エコアクション21環境経営システムの見直しの実施 ⑤必要な設備、人的、技術、資金等の資源の適正配分 ⑥環境経営目標及び環境経営計画の承認⑦環境経営レポートの最終承認
環境委員会	①エコアクション21に関する活動内容の審議 ②環境経営目標及び環境経営計画の審議と実施運営の確認
環境管理責任者	①必要な設備、人的、技術、資金等の資源の提案 ②エコアクション21の維持管理の統括 ③環境経営目標及び環境経営計画の立案 ④不適合是正処置の統括及び検証 ⑤緊急事態対処の最高責任者 ⑥利害関係者への情報の開示に関する統括 ⑦経営者にエコアクション21の実績を報告 ⑧環境経営レポートの確認
事務局	①エコアクション21の実施運営の事務局 ②環境管理責任者の補佐 ③外部及び内部の利害関係者との環境情報伝達の管理 ④法規制及び同意したその他の要求事項の入手と管理 ⑤環境経営計画実施状況の把握及び指導 ⑥環境教育計画の策定と実施指導 ⑦環境経営レポートの作成
部門責任者	①自部門における環境経営システムの実施 ②自部門における環境経営方針の周知 ③自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ④自部門に関連する環境経営計画の達成状況の報告 ⑤自部門の問題点の発見、是正、予防措置の実施 ⑥特定された項目の手順書作成及び運用管理
各推進部門課員	①環境経営計画の実施 ②防火、防災等緊急時対応 ③廃棄物の分別と適正処理 ④環境活動への参加と積極的協力

## 環境経営目標

### 中期環境経営目標（第四期 2020年度～2024年度）と本年度目標

	環境経営方針	取組項目	中期の環境経営目標(2024年まで)	2023年目標
①	製品の開発・製造に使用する資源投入量の適正化を推進し、材料の歩留まりと製品品質の向上に努めます	資源投入量 (原材料B)の適正化  (原材料B(乳剤)の 廃棄率の低減(%))	2019年度10月から12月までの原材料B(乳剤)廃棄率の平均値6.62%を維持し、材料投入量の効率化(省資源化)を図ります。	原材料B (乳剤)廃棄率 <b>6.62%</b> 達成
②	事業活動に伴う省エネルギーを推進し、CO2排出の削減に努めます	売上高当たりの二酸化炭素 排出量の削減 (kg・CO2/百万円)	売上高当りCO2排出量を、2019年度を基準として、2024年度まで毎年1%削減する。 (2019年度実績 822.5kg・CO2/百万円)	2019年度比 3%削減する <b>789.6kg</b> ・CO2 /百万円
③	事業活動に伴う水資源(上水)の使用量の節水に努めます	製品出荷量当りの 水の使用量の節水 (m <sup>3</sup> /版数)	水を使用する製品(版)当りの上水の使用量を、2019年10月から12月までの平均値 0.147m <sup>3</sup> /版数を維持する。 ※はくり作業による水の使用量が増えたため 2019年10月から12月の平均値とする	水の使用量 <b>0.147m<sup>3</sup></b> /版数 を維持する
④	化学物質の取扱量の削減に努めます	製品出荷量当りの 化学物質の 取扱量の削減 (g/版数)	製品出荷量当りの化学物質の取扱量を、 2019年の平均値 2.4g/版数にする。	化学物質の 取扱量を、 <b>2.4g</b> /版数 にする
⑤	資源を有効に利用するため、再資源化の推進および廃棄物の削減に努めます	廃棄物の再資源化率 (リサイクル率) (%)	処理方法が変わったため廃棄物の再資源化率(リサイクル率)の目標を設定するため毎月のリサイクル率(%)を計算し、目標設定する 2018年目標 平均値24.8%の維持	リサイクル率 <b>24.8%</b> 維持
⑥	法的要求事項および弊社が受入れたその他の要求事項を遵守します	環境関連法令の遵守	法令順守	定期的に適用法令の遵守状況をチェックする(月1回)

## 環境経営計画

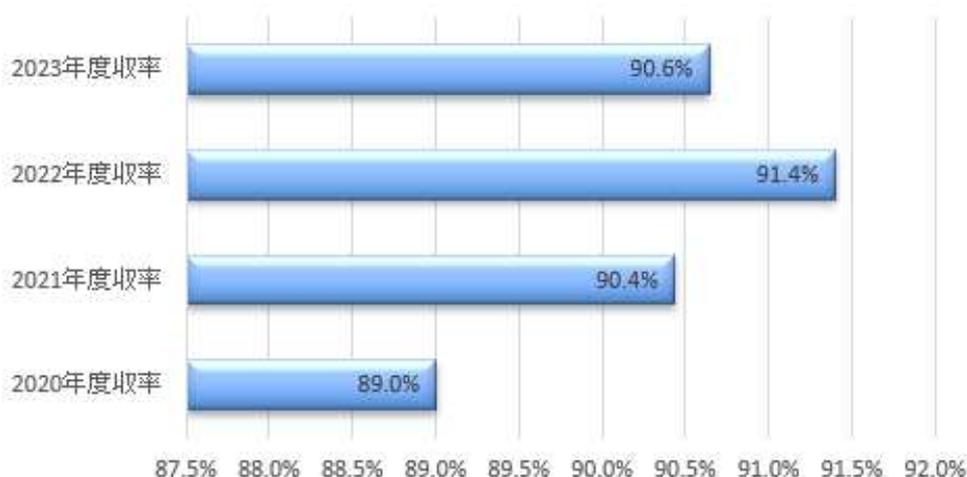
### 本年度 取組内容とその評価と次年度の取組内容

#### 1. 資源投入量(原材料B)の効率化(廃棄率の低減活動)の継続活動

- 製品のゴミ付着が多いため、不良品がでる。 ※評価:達成した○、達成できなかった×

取組計画	評価	次年度の取組内容
① 機械設備の分解清掃の実施 ※年2回実施	○	収率90%は越えているので、引き続き活動を継続していくこと。
② 原材料Bをろ過するメッシュサイズの変更継続(原材料Bの異物混入防止)	○	
③ 枠にゴミが付着していないか、丁寧に取り除いたあとに原材料Bを使用する。	○	
④ 粘着力が強いローラーでゴミをとる	○	
⑤ ゴミが付着する要因はないか作業者の服装の確認 ※ 服装にローラーをかける。	○	
⑥ 日常清掃、月次清掃の強化、今期は乾燥機の清掃頻度の増加	○	
⑦ 紗張り機上の扇風機の清掃	○	
⑧ バケットの定期的な交換	○	
⑨ 作業確認 ※ 作業者同士を比べて作業内容自体に問題ないか確認	○	

年度別収率平均値



#### 活動に関する分析

昨年と比べると  
 1%収率がおちて  
 しまった。良品が多く  
 できる客先の製品の受注が  
 減ってしまったという  
 報告もある

## 環境経営計画

### 本年度 取組内容とその評価と次年度の取組内容

## 2. 二酸化炭素(CO2)排出量削減活動

### ☆ 電力量・使用量の削減

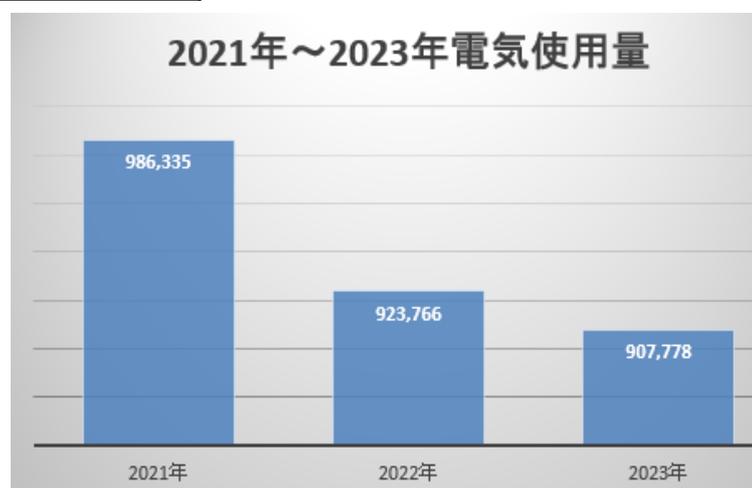
取組計画	評価	次年度の取組内容
① デマンドコントロールでの電力の把握→390kWに近づいたらアラームによってお知らせ。上限の設定。	○	継続的活動をすること。 今年度は予算の関係でエアコンの内部清掃を委託業者に行ってもらったことを見送ったので次年度は実施すること。
② 昼休みのエアコン、電気の消灯	○	
③ ノートパソコン使用者はピーク電力時間帯にバッテリー使用に切替	○	
④ エアコンと扇風機の併用	○	
⑤ エアコンの新規購入	○	
⑥ エアコンのフィルター清掃	○	

### ～ 売上あたりの電気使用量の比較 ～

年度	売上あたりkg-CO2
2021年	648.87
2022年	471.79
2023年	435.81

### 活動に関する分析

売上あたりのkg-Co2も全体の電気使用量も減少している。





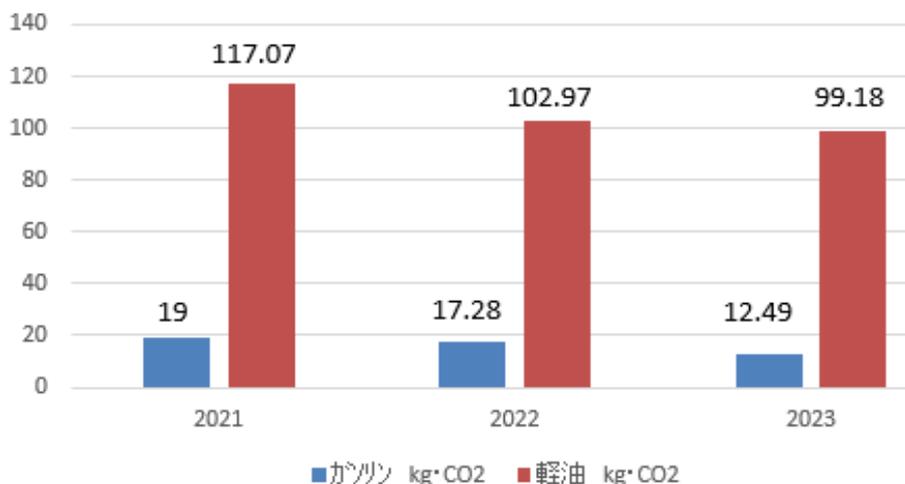
## 本年度 取組内容とその評価と次年度の取組内容

### 2. 二酸化炭素(CO2)排出量削減活動

#### ☆営業車、社用車のCO2削減

取組計画	評価	次年度の活動内容
① 3ヶ月点検の実施	○	本年度は新車を 購入手続きをした がまだ納車されず。 引き続き意識して 活動すること。
② アイドリングストップ、急発進、急加速、空ふかしの禁止	○	
③ 配送ルートの効率化 * エリアをまとめて配送する	○	
④ 出張時の公共交通機関の利用 * 1名での出張は必ず電車利用	○	
⑤ 燃費のよい車に買い替え	×	

売上あたりkg-CO2の比較



#### 活動に関する分析

売上あたりのkg-CO2で比較すると昨年よりもさらに減っている。値上げもしているので昨年より売上も増加し、減少して当たり前なのかもしれないが、努力もしていると思う。



## 本年度 取組内容とその評価と次年度の取組内容

### 3. 水の使用量節水活動

取組計画	評価	次年度の活動内容
① 各トイレ、食堂に節水の表示、意識向上	○	引き続き節水に努めること。活動を継続すること。
② 食堂の洗い物はまとめて総務が実施 ⇒ 食器洗い乾燥機を購入。水の出しすぎ、止め忘れなどの抑制。 節水コマの使用	○	

水の使用量の比較



#### 活動に関する分析

昨年より増加している。  
冬季の使用量が増えている。

### 4. 化学物質の取扱量削減活動

取組計画	評価	次年度の活動内容
① 特定化学物質含有接着材から非含有接着材に変更	○	引き続き継続して行うこと。 買いすぎないように注意すること
② 溶剤の保管の整理整頓 ※ 産業医との巡回時に中を確認している	○	
③ 溶剤の適正在庫管理の強化(保管量の発注点の管理)	○	

#### 活動に関する分析

有機溶剤作業主任者が適正に管理している。

## 本年度 取組内容と次年度の取組内容

### 5. 廃棄物のリサイクル推進

#### 工場内

取組内容	評価	次年度の取組内容
① スクリーン端材の活用	○	引き続きすべての活動を継続的に実施すること。
② ゴミの分別の徹底 ⇒ 手順書の作成と配布	○	
③ 仕入業社からの梱包材(段ボール、緩衝材、プラダン)の再利用	○	
④ 製品を梱包するプラダンの回収 回収して再利用していることをアピールするシールを作成。 貼り付けて出荷する。	○	
⑤ SUS材、メッシュ、回収枠について銀ペーストを回収して業者に委託。 再利用もしくは現金化	○	
⑥ ゴミ箱の巡回確認	○	
⑦ FAXのデータ化受信、工程表のデータ管理	○	

#### 事務所内

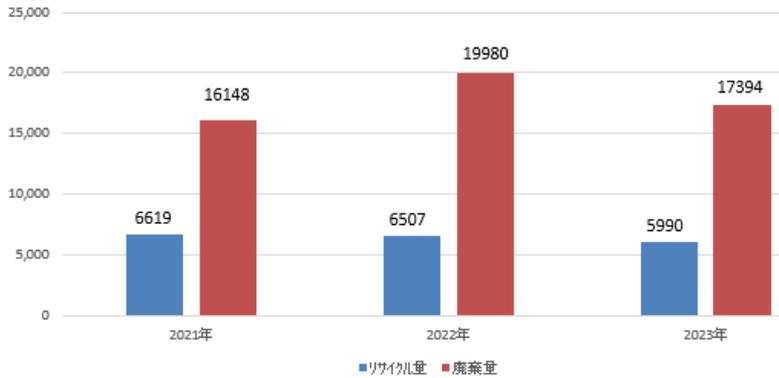
取組内容	評価	次年度の取組内容
① 社内一時保管用の裏紙印刷の徹底	○	次年度も継続的に実施し、目標達成のために活動していく。
② 失敗したコピー用紙、保険会社からの回収用紙、他部署からの片面印刷していらなくなった用紙などを回収し、両面印刷の推進をする	○	
③ リサイクルトナー、テプラ、ネームランドのケースを仕入業社に引き取ってもらう ※総務でまとめて管理	○	
④ 事務用品のスペア交換の徹底(詰替使用の強化)	○	
⑤ FAX用紙のデータ受信 ⇒印刷が必要なFAXのみ印刷。それ以外はデータで閲覧、回覧。	○	



メタルマスク・スクリーンマスクの  
アサヒテック株式会社

## 本年度 取組内容と次年度の取組内容

リサイクル量と廃棄量の比較



## 活動に関する分析

リサイクルも廃棄量も減少している  
ゴミの減量もできている

## その他の本年度取組活動

①旧工場にある営業部兼間接部門の部屋をリフォームし、照明をLEDに交換した



②講師を招いて有機溶剤取り扱い特別講習を3回実施。作業者と有機溶剤作業主任者が聴講した





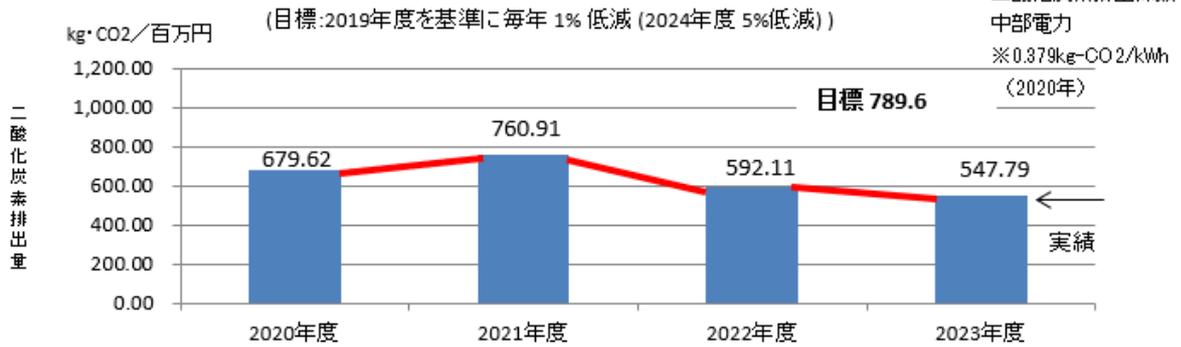
## 本年度 取組結果と評価

### 1. 製品の開発・製造に使用する原材料Bの廃棄率削減活動推移



目標値 6.62% 実績 4.68 % 目標達成 ○

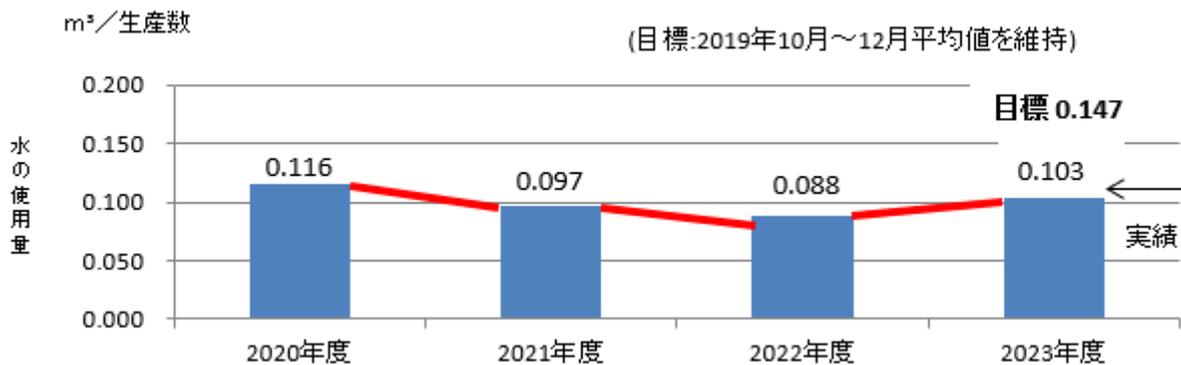
### 2. エネルギーの売上高当りのCO2排出量削減活動推移



目標値 789.6kg・CO2 実績 547.79kg・CO2 目標達成 ○

CO2総排出量 432, 206.27(kg-CO2)

### 3. 製品数当たりの上水使用量削減活動推移



目標値 0.147m³/生産数 実績 0.103 m³/生産数 目標達成 ○

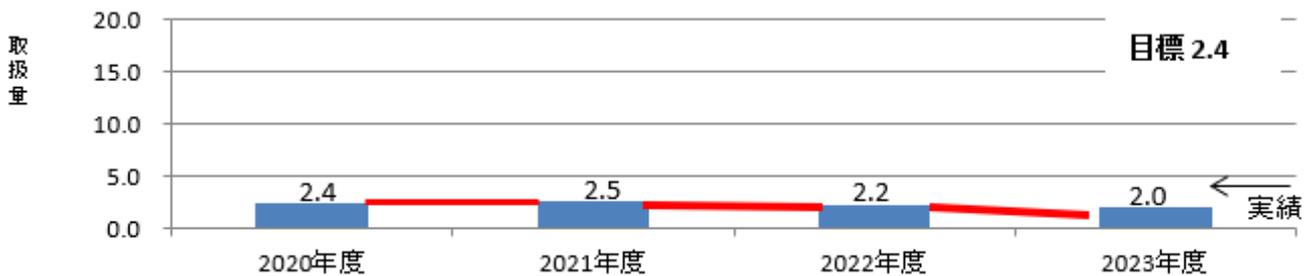
使用量 8042.5m³



## 本年度 取組結果と評価

### 4. 化学物質の取扱量削減活動推移

g/生産数 (目標: 2019年平均値を維持)

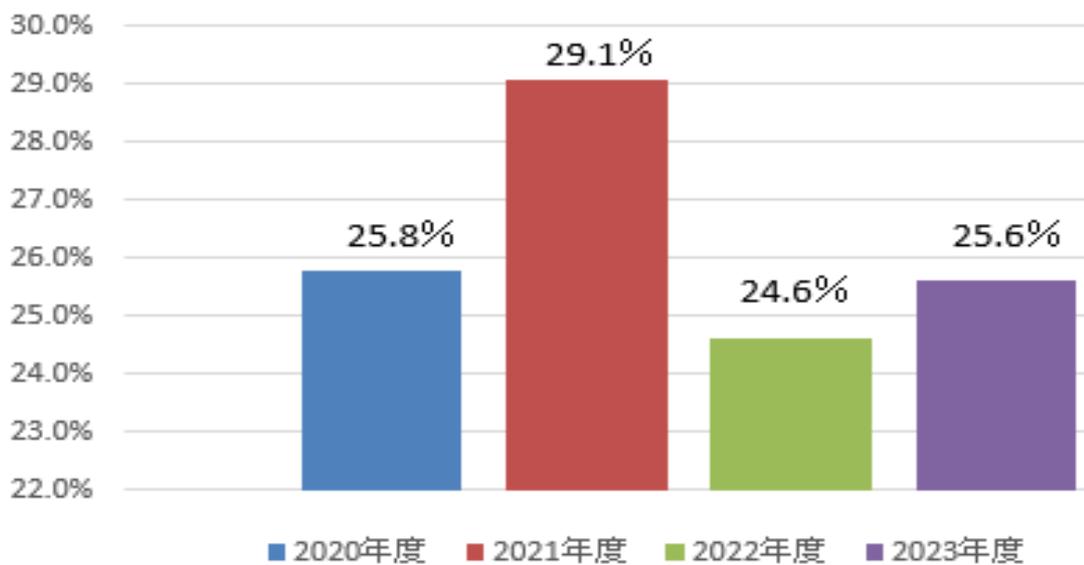


目標値 2.4g/生産数 実績 2.0g/生産数 目標達成 ○

取扱量 160,350g

### 5. 廃棄物の再資源化(リサイクル率の向上)活動推移

#### リサイクル率推移



目標値 24.8%、実績 26.6% 目標達成 ○

## 環境法規等要求事項と順守状況

1. 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
  - 愛知県条例 県民の生活環境の保全に関する条例
  - 瀬戸市条例 瀬戸市廃棄物の処理及び清掃に関する条例
  - 要求事項 廃棄物の適正処理、発生抑制、再資源化推進、再利用  
廃棄物保管場所の設置、及び国・県・市の施策への協力  
産業廃棄物処理業者の現地確認
2. 騒音・振動規制法
  - 愛知県条例 県民の生活環境の保全に関する条例
  - 要求事項 特定施設の届出と騒音・振動規制値の順守
3. 消防法 (危険物第4類)
  - 要求事項 防火管理と防火管理者の選任
  - 瀬戸市火災予防条例
  - 要求事項 少量危険物貯蔵取扱所を記載した標識及び掲示板の設置
4. 下水道法
  - 瀬戸市下水道条例 要求事項 下水排水基準の順守
5. 水質汚濁防止法 要求事項 特定施設の届出等
6. 有機溶剤中毒予防規則
  - 要求事項 有機溶剤等の許容消費量を超えないこと、換気装置の設置、保護具の配布、健康診断の実施
7. PRTR法 要求事項 化学物質の排出量等の届出等 該当するが届出不要範囲
8. 愛知県条例 県民の生活環境保全等に関する条例
  - 要求事項 自動車の駐停車時、従業員へ原動機を停止するよう指導  
化学物質の適正な管理
9. 業界 取引先様からのグリーン調達ガイドライン
  - 要求事項 環境管理システムの構築
10. フロン排出抑制法
  - 要求事項 業務用エアコンの簡易点検及び記録の保管
11. 毒物及び劇物取締法
  - 要求事項 盗難防止措置、貯蔵場所に「医薬用外」「劇物」表示、飛散、漏れ、地下浸透防止

## 環境法規の違反・訴訟等の有無

当該環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。  
その他クレームもありません。

## 全体の評価と見直し

### 代表者による全体評価と見直し・指示

#### 1. 資源投入量(原材料B・乳剤)の適正化 ※廃棄率の低減

評価： 昨年度よりは悪かったが目標に達成でき、活動内容を評価できる。

見直し・指示： 昨年度の指示の冬季の収率が上がるように活動することはなかなか結果が伴っていない。引き続き活動をする事。

#### 2. CO2排出量削減

評価： 目標に達成することができ、評価できる。

見直し・指示： 引き続きガソリン使用量をみえる化し、削減すること。古いエアコンも省エネタイプに1台でもよいので買い替えていくこと。次期はエアコンの清掃をすること。新車を購入し、電気やガソリン等ともに使用量の削減に努め、引き続き活動を継続すること。

#### 3. 上水使用量の削減

評価： 昨年同様、目標達成に評価できる。

見直し・指示： 定期的に掲示をかえること。引き続き節水意識をもちつつ活動すること。

#### 4. 化学物質の排出量削減

評価： 年間で見ると目標値に達成できており、評価できる。

見直し・指示： 月ごとにみると目標値に達成していない月もあるが、次月では達成できているので次月分を先行して購入した分かと思われる。無駄のないように購入し、目標値に達成できるように努めること。引き続きすべての活動を継続していくこと。

#### 5. 廃棄物の分別と再資源化

評価： 年間を通してみると目標値に達成できている。

見直し・指示： 昨年より廃棄量が減少している。まとめて購入するなどしてゴミをださないようにし、引き続き活動を継続すること。リサイクル率をあげる事。

### 全体評価

全体的によい結果をだしている。

引き続き来年度も活動を継続し、目標達成に努力すること。

## 次年度の環境経営目標

### 2024年度 環境経営目標

環境経営方針	取組項目	2024年目標
製品の開発・製造に使用する資源投入量の適正化を推進し、材料の歩留まりと製品品質の向上に努めます	資源投入量 (原材料B)の適正化  (原材料B(乳剤)の 廃棄率の低減(%))	原材料B (乳剤)廃棄率 <b>6.62%</b> 達成する
事業活動に伴う省エネルギーを推進し、CO2排出の削減に努めます	売上高当たりの 二酸化炭素排出量の削減 (kg・CO2/百万円)	2019年度比 3%削減する <b>781kg・CO2</b> /百万円
事業活動に伴う水資源(上水)の使用量の節水に努めます	製品出荷量当りの 水の使用量の節水 (m <sup>3</sup> /版数)	水の使用量 <b>0.147m<sup>3</sup></b> /版数 を維持する
化学物質の取扱量の削減に努めます	製品出荷量当りの 化学物質の 取扱量の削減 (g/版数)	化学物質の 取扱量を、 <b>2.4g/版数</b> にする
資源を有効に利用するため、再資源化の推進および廃棄物の削減に努めます	廃棄物の再資源化率 (リサイクル率) (%)	リサイクル率 <b>24.8%</b> 確保
法的要求事項および弊社が受入れたその他の要求事項を遵守します	環境関連法令の遵守	定期的に適用法令の遵守状況を チェックする(月1回)

## 本社アクセス



愛知県瀬戸市日の出町1番地

〒489-0004

総務部 / Tel.0561-86-8616 Fax.0561-86-9900

営業部 / Tel.0561-86-8611 Fax.0561-86-9200

E-mail [eigyoku@asahitec-j.co.jp](mailto:eigyoku@asahitec-j.co.jp)

URL <http://www.asahitec-j.co.jp>